

校長室から

みなさん、こんにちは。ようこそ、鹿児島市立武岡小学校のホームページへ。

授業に子供たちが興味・関心をもって取り組むことができるようになるためには、どんな授業の仕方や指導が必要だろうか。

通常の授業の場合：①チャイムと同時に席に着く ②机の上に教科書、ノートなど必要なものを出しておく ③教師の発問に反応する（着目する、考える、挙手、発言、ノート記入） ④友達の考えを聞く ⑤自分の考えを伝える ⑥友達と意見を交換する ⑦自分なりのまとめをする ⑧もっと追求したいことを考えるといったことが必要であろう。

体育（水遊び）1年の授業を一部、参観した。

そこでは、「変化のある繰り返し」がテンポよく行われていた。



- 1 シャワーでじゃんけん（時間を確保、シャワーの中でも目を開ける練習）
- 2 水かけ（足→太もも → 手 → 腹、足バタバタ→友達と水かけっこ）
- 3 入水（すぐに入って出る → 10秒間つかる：お猿のお風呂）
- 4 対岸の壁まで、走る（男・女）：顔に水がかかる
- 5 動物で移動（アヒル、あざらし、ワニ、クマ…） 水面に顔を入れる
- 6 鬼ごっこ（2人の鬼→氷鬼→手つなぎ鬼）：水に慣れる（不安を取り除く）
- 7 水中ボール拾い（水中で目を開ける、プールの水への恐怖を取り除く）
- 8 浮く練習 … という具合だ。

テンポよく、スモールステップで、「動き」が組み立てられていた。

子どもたちは、知らず知らずのうちに楽しみながら、水への抵抗・不安をなくし、水に慣れていく。水中で目を開けることや顔を水につけることも克服していく。子どもたちを飽きさせない指導だ。子どもたちは、「もっと水遊びが好きになるだろう。」そして、こういった授業の過程で、子どもたちの「学びに向かう力」も育成されていく。途中、教師の指示に従っていない行動に対しての注意も行われていた。これもまた、「学びに向かう力」を育成するために大事な指導である。

本年度より、本校の研究テーマは、「主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり ～『学びに向かう力』の育成をめざして～」だ。

さらに職員と深めていきたい。